

日赤通り

NISSEKI VOICE 広報誌

〒960-8530 福島市八島町7番7号 TEL(024)534-6101(代表)

Vol.56

発行：福島赤十字病院 R4.11.30



[特集]

「静脈瘤手術開始」 「MRI-TRUS 融合画像ガイド 下前立腺生検導入」

臨床研修の理念：

医師が、医師としての人格をかん養し、医学及び医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、一般的な診療において頻繁に関わる負傷又は疾病に適切に対応できるよう、プライマリ・ケアの基本的な診療能力（態度・技能・知識）を身に付けることのできる臨床研修を行う。



患者さまの権利 福島赤十字病院は患者さまの次の権利を尊重します。

1. 良質な医療を公平に受ける権利。
2. 個人の尊厳が守られる権利。
3. 医療上の個人情報（プライバシー）が守られる権利。
4. 診療上必要な情報を得、説明を受ける権利。
5. 自らの意思に基づき医療行為を選択する権利。
6. 他の医師等の意見（セカンドオピニオン）を求める権利。

患者さまへのお願い 福島赤十字病院は患者さまに次の事項を守っていただきます。

1. 適切な診療を受けるために、ご自身の健康状態、病歴などの情報を正確に医療スタッフに提供してください。
2. 診療内容は納得いくまで説明を受け、自ら理解した上で検査・治療を受けてください。
3. すべての患者さまが適切な医療を受けられるよう、病院の規則や職員の指示に従ってください。

基本理念 「わたしたちは、いのちと健康、尊厳を守るため、より良い医療を目指します」

基本方針 「患者さま中心の医療」 「良質な医療の提供」 「地域医療機関との連携」 「救急医療の充実」
「災害時の救護活動」 「原子力災害対応機能の充実」 「健全な経営の維持」

静脈瘤手術開始

本年4月より佐戸川弘之先生が福島赤十字病院心臓血管外科に着任されました。

当院も6月より静脈瘤血管内治療認定施設となり、血管内レーザー焼灼治療（Leonardo Bonsai 1470）ほか、血管内接着剤治療（VenaSeal™ クロージャー システム）というあたらしい治療機器を導入し、6月より手術を開始いたしました。

これらは局所麻酔を用いた低侵襲治療であり、クリニカルパスに準じて1泊2日の短期入院治療が可能です。

静脈瘤でご紹介いただいた患者さんの評価を行い、血管内治療が適応とされる例に対してそれぞれに適した治療法を行います。

下肢静脈瘤でお困りの患者さんがおりましたら、まずはご紹介ください。



心臓血管外科
佐戸川弘之



心臓血管外科
籠島 彰人

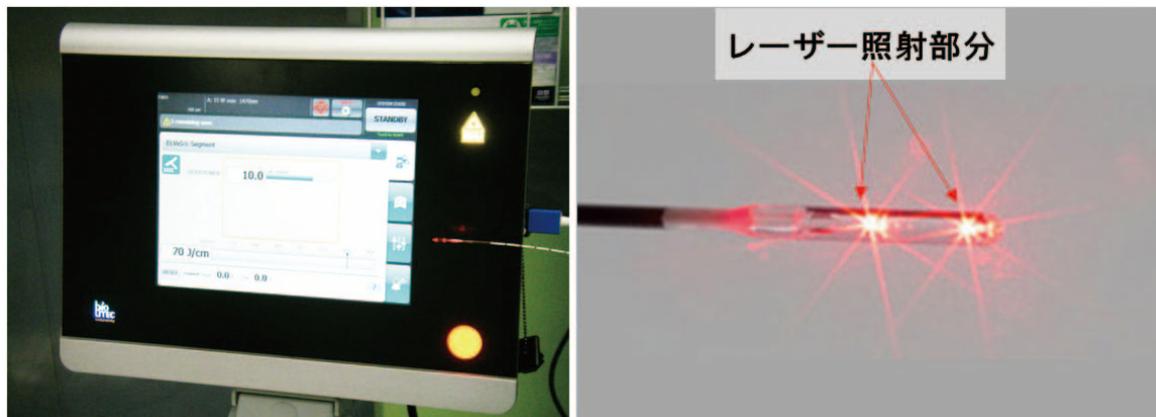
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー焼灼術とは

下肢静脈瘤は主として下肢静脈の弁不全によって生じ、表在の静脈が拡張・屈曲したものと定義されています。症状は多彩で、軽症ではかっこう悪い、痛み、重苦しい、むくみ、熱感、下肢の冷感などで、重症になると皮膚に病変を生じ湿疹、色素沈着、皮膚硬化、皮膚潰瘍を生じます。静脈の逆流が原因として生じる場合が多く、この際に適用となる治療法が血管内治療や手術です。最近では、侵襲が少ない治療法として血管内治療が行われることが多いです。

【表1】 下肢静脈瘤治療の血管内治療の分類

血管内焼灼術(ETA)	レーザー焼灼術 高周波焼灼術 マイクロ波など
非焼灼非浸潤麻酔治療(NTNT)	硬化療法 NBCA(CAC)

【図1】 レーザー装置とカテーテル



左：レーザー装置(ELvesSレーザー1470、インテグラル、東京)
右：レーザーカテーテル(radial 2ring fiber)先端部

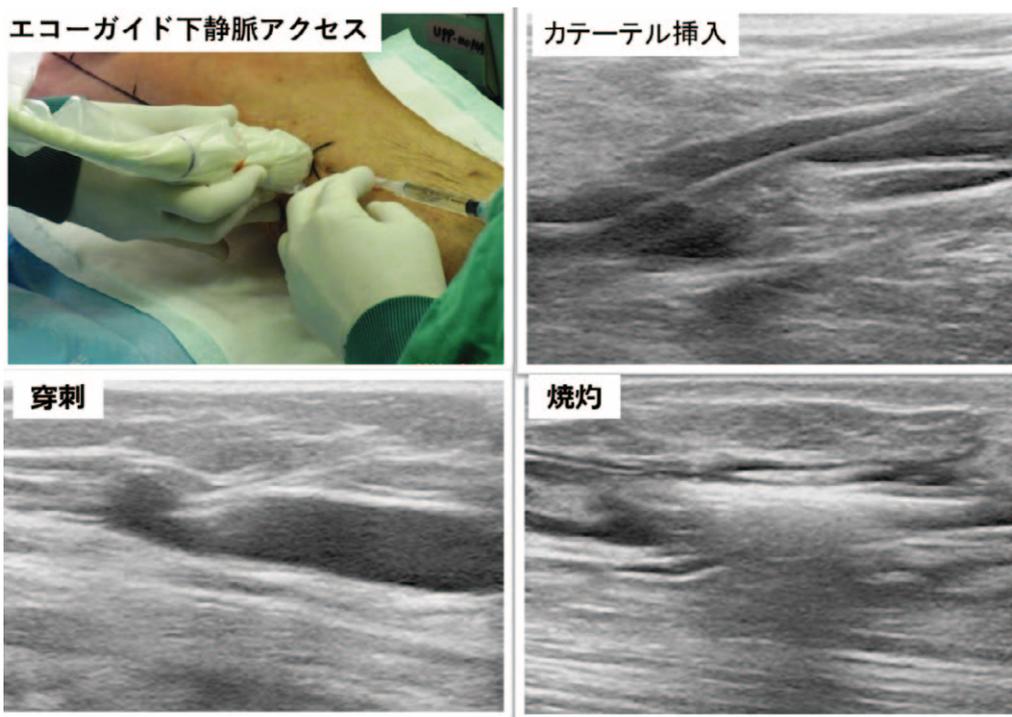
血管内治療には、レーザーや高周波のカテーテルを用いて静脈内を焼灼し閉塞させる血管内焼灼術（Endothermal ablation：ETA）と最近承認されたシアノアクリレート接着剤による塞栓術（Cyanoacrylate closure：CAC）があります。CACは焼灼時の鎮痛が不要なことから non-thermal non-tumescent：NTNT 治療と呼ばれ、より侵襲が少ない治療法です（表1）。

当院では最近血管内レーザー焼灼術（図1）を開始しておりますので、その方法を紹介いたします。

適応は大伏在・小伏在・副伏在静脈に病的な逆流を認める一次性静脈瘤となります。手術では、まずエコーガイドにて①静脈を穿刺、②カテーテルを深部静脈接合部付近まで挿入、③焼灼部位に局所麻酔を実施、④カテーテルを引ながらレーザー焼灼を行います（図2）。

下腿には目立つ静脈瘤がありますので、同時に切除するか術後に硬化療法を行い対処します。手術時間は1時間以内です。当院では外来の都合で1泊2日の入院治療としています。手術後の静脈の閉塞成績は100%近く、患者さんの社会復帰も早いです。

【図2】 血管内レーザー焼灼術と術中エコー



一方CACは局所麻酔の必要がない（カテーテル穿刺時以外）という利点がありますが、適応として静脈系が12mm以下、アレルギー歴のある方、炎症性疾患、膠原病等の症例には適応が難しいなど制限があります。また術後3～4%程度の静脈炎の発生が認められ注意が必要です。CACも当院で実施可能です。

以上最近の下肢静脈瘤の根治的な治療法について述べました。

今後当科では静脈疾患に対して、患者さんにやさしい、積極的な治療を行っていきたいと考えております。ご協力ご支援のほどよろしくお願いいたします。

前立腺がん診断における「MRI-TRUS 融合画像ガイド下前立腺生検」導入のお知らせ



泌尿器科
本田 瑠璃子



泌尿器科
丹治 亮

この度、当院泌尿器科では2022年8月より、前立腺がんが疑われる患者さんを対象とした「MRI-TRUS 融合画像ガイド下前立腺生検」という新しい前立腺生検法を導入いたしました。

近頃、前立腺がんが増えていると耳にすることはないでしょうか。本邦の最新がん統計によると、男性がん罹患率第1位は前立腺がんと報告され、また予測よりも早いペースで前立腺癌の患者数が増加していることが示され、重大な社会問題となっています（図1、2）。

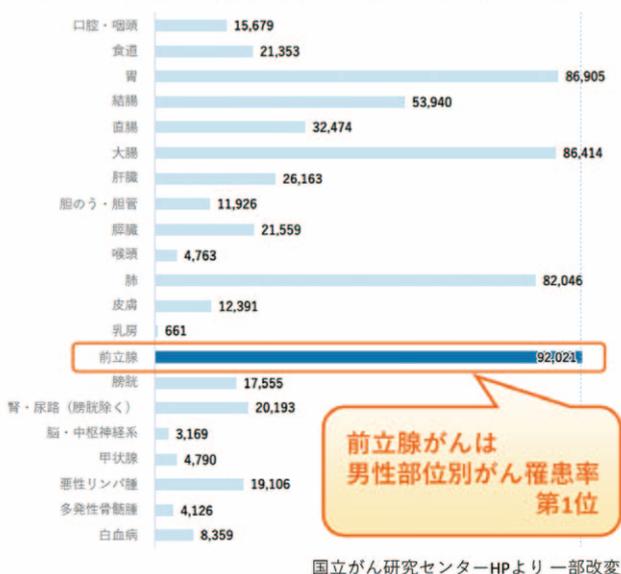


図1：男性の部位別がん罹患数【2018年】

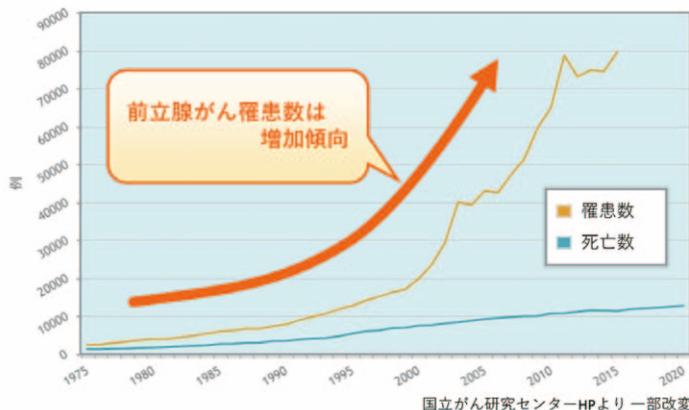


図2：前立腺がん罹患数・死亡数の推移

初期の前立腺がんはほとんどが無症状であるため、早期発見には検診や人間ドックが非常に重要です。前立腺がんになると血中のPSAと呼ばれるたんぱく質が増加することが多く、血液検査でこの数値が基準値（一般的に4.0ng / ml）を超えた場合には、専門医を受診するよう通知があります。

当科ではPSA異常高値を指摘された患者さんが来院された場合、PSA上昇をきたしうる前立腺炎や前立腺肥大症の評価を行い、必要に応じて核磁気共鳴画像（MRI）での評価を提示しております。2009年にマルチパラメトリックMRIとよばれる画像検査法が確立され、超音波画像やCTなどで検出は難しいと言われていた前立腺癌の画像診断は飛躍的に向上しました（図3）。しかし残念ながら、前立腺がんの診断はMRIのみでは不完全とされます。マルチパラメトリックMRIでがんを疑ってもがんでないことや、MRIで検出できない前立腺がんも存在するからです。このため、前立腺がんがより疑わしいと判断された場合には、前立腺生検という、前立腺に針を複数箇所穿刺して組織を採取し、顕微鏡で実際にがんがないか確認する検査を行う必要があります。前立腺生検の中でも、特にMRIで指摘された部位を狙って生検を行うことを標的生検とよびます。

これまでの標的生検では、事前に撮影したMRIでがんが疑われる場所を医師が記憶して、経直腸の超音波画像（TRUS）での前立腺の形状などから標的部位の目星をつけて組織を採取する方法が用いられてきました（図4）。この度、2022年4月より「MRI-TRUS 融合画像ガイド下前立腺

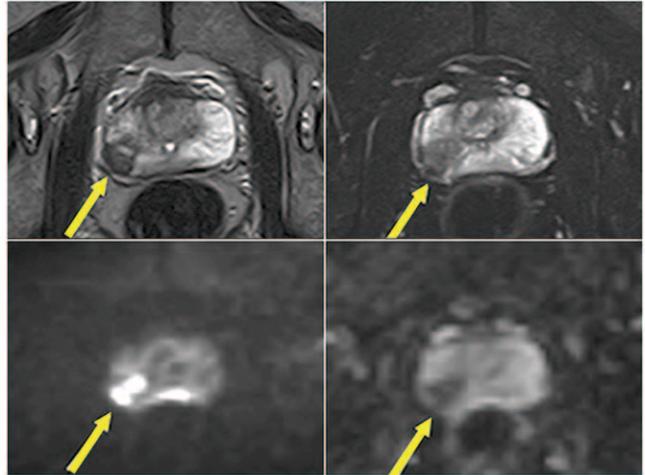


図3：マルチパラメトリックMRI

生検」と呼ばれる新しい前立腺生検法が保険収載されました。これは、専用の機器を用いて前立腺生検時に使用する経直腸的超音波画像 (TRUS) に MRI 画像の所見を表示させ、リアルタイムに同期した融合画像下に標的の生検を行う方法です (図5)。従来よりも高い精度で標的の生検を行うことが可能であり、診断能が向上するのみでなく、がんの診断後のより適切な治療方針の決定や、繰り返しの再検査の削減に寄与します。当院では BioJet® システム (図6) と呼ばれる専用機器を用いた「MRI-TRUS 融合画像ガイド下前立腺生検」を東北地区において初めて導入し、MRI でがんが疑わしいと判断された患者さんを対象に検査を提示させていただいております。

50歳を超えた男性では PSA 測定による前立腺がん検診の受診が推奨されております。対象となる場合には積極的に検診を受診していただき、もし PSA 高値を指摘される際には当科へご相談ください。今回の「MRI-TRUS 融合画像ガイド下前立腺生検」の導入が、地域医療の貢献につながれば幸いです。

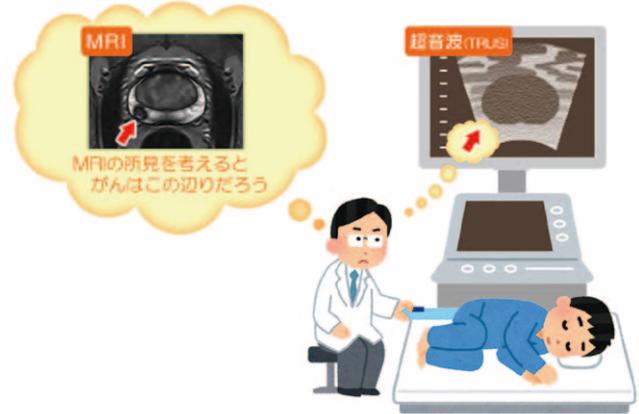


図4：従来の標的の生検 (イメージ図)

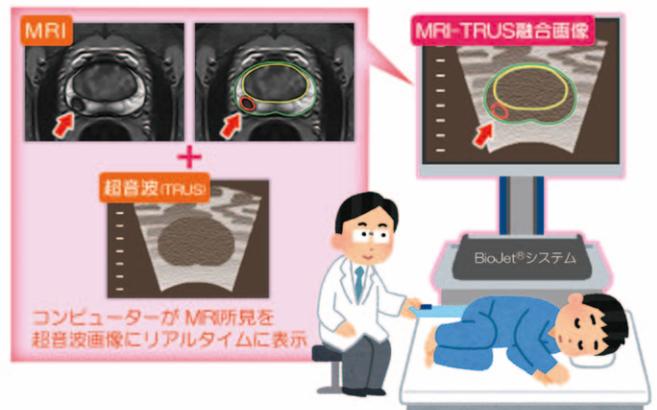


図5：MRI-TRUS 融合画像下前立腺生検による標的の生検 (イメージ図)

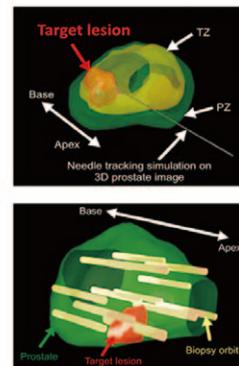


図6：BioJet® システム

精神科病棟閉鎖のお知らせ

福島赤十字病院
院長 鈴木 恭一

2022年9月1日より、当院精神科病棟を閉鎖（休止）しました。今後は身体合併症を有する精神疾患患者様を当院一般病棟で治療します。一方で、精神疾患単独の患者様は、当院での入院が不可能となります。また、精神科医師数が今後減少することから、精神科外来業務を縮小せざるを得ません。当院の使命である救急医療を、少ない精神科医師で果たすための対応とご理解ください。外来患者様には、近隣の病院やクリニックへのご紹介を勧めさせていただきます。地域の特に精神科医療機関の先生には、身体合併症が落ち着いた患者様の転院をお引き受けいただけますよう、お願い申し上げます。

今回の病棟閉鎖に至った理由として、出産・育児で休職する看護師数が想定を超えたことが挙げられます。多くの重症者が入院する当院では、看護の質を低下させる訳にはいきません。やむなく一つの病棟を閉鎖し、残った病棟で高度な医療と看護を継続することにしました。

今後の医師数や看護師数を予測することが困難であり、現時点では精神科病棟の再開時期を提示できないことも、併せてご理解いただけますようお願い申し上げます。

医師派遣用自動車の更新配備

3月29日に医師派遣用自動車が日本赤十字社福島県支部の財源で整備されました。

災害発生時などに、応急の治療を行う医師を傷病者の所在する場所まで運搬するためなどに活用する予定です。



新任医師紹介

脳神経外科



なるせ ゆう
鳴瀬 悠

出身大学
福島県立医科大学
平成28年卒

専門とするもの

脳神経外科一般

所属学会

日本脳神経外科学会
日本神経内視鏡学会
日本脳腫瘍の外科学会

メッセージ

丁寧な診療を心がけ、よりよい医療を提供できるように尽力いたします。
お気軽にご相談ください。

福島赤十字病院 登録医師・医療機関のご紹介

*医療連携にご協力いただいている医療機関を順次ご紹介いたします。

この花内科クリニック

■院長 坂本 信雄 先生 ■副院長 坂本 夏美 先生

～坂本先生からのメッセージ～

この花内科クリニックでは、2人の総合内科専門医が、循環器疾患と消化器疾患を中心に内科全般を診療しています。その中で精密検査や入院が必要な患者様については、福島赤十字病院の先生方、スタッフの皆様方にはいつも大変お世話になっております。心より感謝申し上げます。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



《診療科》

内科・循環器内科・
消化器内科

《住所》

〒960-8161
福島市郷野目字仲11

《電話》

024-563-1287

《休診日》

日曜日・祝日・第一木曜日
※木曜日は完全予約日

	診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前	8:30~12:00	○	○	○	予約 検査日	○	8:30 ~	×
午後	14:00~17:30	○	○	○	×	○	13:00	×

ましこ眼科クリニック

■院長 増子 徹 先生 ■増子 真理 先生

～増子先生からのメッセージ～

平成18年6月に開業し、今年で17年目になります。

OCT（眼底三次元画像解析）を導入し、網膜疾患や緑内障の診断に役立てています。外科治療は日帰り白内障手術を行っております。細隙灯顕微鏡や眼底所見等をモニターで分かり易く説明できるよう、日々心がけております。

今後も連携をとりながら、地域医療に貢献したいと思っております。



《診療科》

眼科

《住所》

〒960-0111
福島市丸子字芳堀15-2

《電話》

024-552-5335

《休診日》

日祝祭日 年末年始 木・土曜午後

《手術日》

火曜日 通常診察も行っています
(実際の受付は診療終了30分前までです)

	診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前	9:00~12:30	○	○	○	○	○	○	×
午後	15:00~18:30	○	○	○	×	○	×	×

各科の 外来診療予定表

令和4年12月1日現在

原則全診療科予約制と
なっております

当日の診療ご希望の場合もご連絡下さい。連絡なくご来院された場合、診療が出来ないことがあることをご了承下さい。

診療科	受付時間	月	火	水	木	金
リウマチ・膠原病内科	午前 11:30迄 新患は11:00迄	宮田 昌之	松岡 直紀	宮田 昌之	宮田 昌之	宮田 昌之
	午後 14:00~				松岡 直紀	
消化器内科	午前 11:30迄 新患は11:00迄	黒田 聖仁 紺野 直紀 石崎 優斗 (新患) 児玉 健太	黒田 聖仁 菅野有紀子 浅間 宏之 (新患) 紺野 直紀	児玉 健太 石崎 優斗 浅間 宏之	菅野有紀子 紺野 直紀 (新患) 石崎 優斗	黒田 聖仁 菅野有紀子 児玉 健太 (新患) 浅間 宏之
	午後	富田ひかる (医大/呼内) (新患) 担当医	寺島久美子 (新患) 担当医	佐藤 佑樹 (新患) 松岡 直紀	寺島久美子 (新患) 医大/総合内科	(新患) 担当医
内 科	午前			田中 健一 (医大/腎臓内科) (完全予約制) 13:30~15:30		
	午後					
糖尿病・代謝内科	午前 11:30迄	佐藤 義憲 (医大/内分泌・糖)	佐藤 義憲	佐藤 義憲	佐藤 義憲	佐藤 義憲
循環器内科	午前 11:30迄 新患は11:00迄	大和田尊之 阪本 貴之 中里 和彦 (医大) (新患) 佐藤 智基	渡部 研一 阪本 貴之 (新患) 大和田尊之	大和田尊之 渡部 研一 (新患) 阪本 貴之	大和田尊之 阪本 貴之 芳賀 文香 (新患) 渡部 研一	渡部 研一 佐藤 智基 (新患) 芳賀 文香
精神科 ※新患受入休止(再診の方のみ)	午前 11:30迄	戸田 亘	山本慎之助	長岡 敦子	長岡 敦子	戸田 亘
	午後 15:30迄 再来の方のみ		長岡 敦子	山本慎之助		
小 児 科 ※一般外来以外は事前に電話予約をお願い致します。	午前 11:30迄	(一般) 清水 裕美	(一般) 今野 友貴 加藤 朝子 (医大/神経) 第4週	(一般) 清水 裕美	(一般) 今野 友貴 (医大/神経) 第1・3週 (医大/心臓) 第2・4週	(一般) 今野 友貴
	午後 15:30迄	予防接種	健診 加藤 朝子 (医大/神経) 第4週	予防接種	健診 第2・4週 (予約) 今野 友貴 第1・3週 (医大/神経) 第1・3週	(予約) 清水 裕美
外 科	午前 11:30迄	塚田 学	遠藤 豪一 大須賀文彦	遠藤 豪一 山内 直人 岡野 舞子 見城 (医大/乳腺) (完全予約制)	塚田 学 9:30迄 見城 明 (医大/肝胆脾移植)	大須賀文彦 山内 直人
	午後			望月翔太郎 14:00~15:00 (医大/甲状腺) 13:30~16:30 ※第4週休診 (完全予約制)	望月翔太郎 14:00~16:30 ストーマ・スキングア外来 14:00~16:30 乳腺外来 (完全予約制)	望月翔太郎 ストーマ・スキングア外来 14:00~16:30 乳腺外来 (完全予約制)
呼吸器外科	午前 11:30迄 月・木は10:00迄	菅野 隆三	菅野 隆三 井上 卓哉	菅野 隆三	菅野 隆三	菅野 隆三 井上 卓哉
心臓血管外科	午前 11:30迄	籠島 彰人 佐戸川弘之	籠島 彰人 佐戸川弘之		籠島 彰人 (末梢血管外来) 10:00~12:00 医大	籠島 彰人 佐戸川弘之
整形外科 ※紹介状をお持ちの方は事前に予約をお願い致します。	午前 11:30迄 火・水・金は 10:30迄	村上 和也 小平 俊介	佐藤 法義 小平 俊介	村上 和也 佐々木信幸 (医大)	村上 和也 佐藤 法義	村上 和也 佐藤 法義
	午後					小林 洋 (医大) 第2・4週
脳神経外科	午前 11:30迄	黒沢 瑞穂 市川 剛	鈴木 恭一	市川 剛 鳴瀬 悠	黒沢 瑞穂 鈴木 恭一	鈴木 恭一 藤井 正純 (医大)
脳神経内科	午前 11:30迄	守谷 新	中村耕一郎	中村耕一郎	中村耕一郎 安田 恵 (医大)	守谷 新
皮膚科	午前 11:30迄	元木 良和	元木 良和	元木 良和	元木 良和	元木 良和
形成外科	午前 11:30迄	浅井 笑子				
	午後 16:00迄	浅井 笑子	浅井 笑子		浅井 笑子	浅井 笑子
泌尿器科	午前 11:30迄	本田瑠璃子	丹治 亮 本田瑠璃子	丹治 進 (外部医) ※第3週休診	丹治 亮 本田瑠璃子	丹治 亮
産婦人科	午前 11:30迄	矢澤 浩之 大原 美希 福田 薫	矢澤 浩之 大原 美希 矢澤 里穂	矢澤 浩之 10:00迄 福田 薫 大原 美希 11:00迄	矢澤 浩之 10:00迄 矢澤 里穂 福田 薫	矢澤 浩之 10:00迄 福田 薫 大原 美希 11:00迄
	午後 16:00迄 水・金のみ	福田 薫 14:00~15:30 産後2週間健診	30日健診	福田 薫 第1・3週 産後2週間健診 第2・4週	産後2週間健診	佐藤 麻里 (外部医) 第2・4週
眼 科	午前 11:00迄	山田 文子	山田 文子	山田 文子	山田 文子	山田 文子
	午後 15:30迄		山田 文子		山田 文子	山田 文子
耳鼻咽喉科	午前 11:30迄 火は11:00迄 木は10:00迄	多田 靖宏 (鼻副鼻腔外来) 三浦 智広 (鼻副鼻腔外来) 大河内幸男	大河内幸男	多田 靖宏 (嚙下・音声外来) 大河内幸男	三浦 智広 大河内幸男	多田 靖宏 三浦 智広 谷 亜希子 (外部医) 第2・4週
	午後 16:00迄			多田 靖宏 (嚙下・音声外来) 松井 隆道 (外部医) 第2・4週		
麻 酔 科	午前 11:30迄	安達 守	出羽 明子	出羽 明子	安達 守	出羽 明子 (緩和ケア外来)

本予定表につきましては、都合により変更になる場合がございます。
 最新版については、当院ホームページをご確認いただくか、お電話にて確認いただきますようお願い申し上げます。